

# 会議概要

令和3年8月12日

件名	令和3年度第1回鹿児島市グリーン・ツーリズム推進協議会	作成課	観光交流局観光交流部 グリーンツーリズム推進課
日時	令和3年8月3日（火）14時00分～15時25分		
場所	みなと大通り別館6階ソーホーAB会議室		
出席者	協議会委員13名（欠席1名） （学識経験者、旅行業関係者、グリーン・ツーリズム実践者、関係機関、公募委員など）		
市出席者	委員：観光交流局長 事務局：観光交流部長、グリーン・ツーリズム推進課長、他関係職員		
会次第	1 議事 （1）第2期鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画に基づく事業・取組について （2）第3期鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画の骨子案について 2 その他		
主な意見等	<p>(1) <b>第2期鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画に基づく事業・取組について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 漁業体験や農作業体験学習に定員を超える応募があったとのことであったが、無料だから応募が多いのか、内容が良いからかはわからないが、こういった内容がいま人気だから実施してみてもどうかと登録団体へ声掛けするなど、次に繋がるような取り組みは行われているのか。 ⇒ 漁業体験は有料、野菜の収穫体験は無料で行っているが、来年度から収穫体験も有料化を検討している。漁業体験は登録団体の協力も得て行っているところで、今後も登録団体と連携して新たなイベントを実施していきたいと考えている。</li><li>・ グリーンファームに関する事業の中に大学等との連携とあるが、どのような活動を行っているのか。 ⇒ サポーター制度があり、イベント等の手伝いをしている。また、鹿児島国際大学の学生によるイベント企画を行っており、1ブースを完全に任せられている。今年度秋にも実施予定で、普段来園の機会がなかった若者を取り込むことができおり、情報発信としても効果が出ている。</li></ul> <p>(2) <b>第3期鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画の骨子案について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ICTの利用は、主に情報発信といったところかと思うが、オンライン旅行やオンラインでの販売、そういったものも含まれていると考えてよいか。 ⇒ 含めて考えている。海外を含め外と結び付けるための取り組みを考えており、ECサイトやオンライン観光など、インバウンドを含め海外客も視野に入れている。</li><li>・ オンライン観光を企画するなど、コロナ禍で立ち止まるのではなく今後もイベントを企画し集客につなげてほしいと考える。近年のグリーンファームでも魅力あるイベントが企画されていて、頑張っていることがよくわかる。今後のイベントとして、例えば今まで鹿児島市内で行われて集客の多かったカレー祭りやナポリ祭などのファンを取り込めるようなイベントを企画してはどうか。 ⇒ グリーンファームにおいては季節ごとのイベントを行っているところではある</li></ul>		

が、大きな目玉となるイベントについては今後指定管理者とアイデアを共有しながら考えていきたい。

- ・第2期計画にあった農村地域の食文化の継承などが第3期計画骨子案ではなくなっているがここも大事にしていくべきところではないか。

⇒骨子案には出てこないが、大事な取り組みの一つであると認識している。次回協議していただく素案の中では標記を検討する。

- ・第3期計画は5年間の計画であり、新型コロナウイルス感染症の先行きは不透明ではあるが、5年後は終息していくのではないかと考えている。その中でグリーン・ツーリズムというのはもともとある農村や地域資源を体験すること、そこに魅力があって人が集まり、結果的に稼げることに繋がるかもしれないが、「稼ぐ」というものを全面的に出すのはどうか。鹿児島にもとからあるものをブラッシュアップして、古いものを生かし、雰囲気を残し、変えていくことが必要ではないか。

⇒今までやってきたグリーン・ツーリズム、地域資源などに磨きをかけていくことで考えている。具体的な施策については素案での検討事項とする。

- ・基本方針2において「地域の拠点となるグリーン・ツーリズム施設の最大限の活用を図ります。」とあり、グリーンファームをメインに書いているのだと思うが、グリーン・ツーリズムにおいては一つの拠点を最大限に、というよりは、みんなであらゆる資源を活用していく、というところが大事ではないかと考えている。耕作放棄地も増えつつあり、身近に今ある景観は当たり前ではなく、誰かが維持しようと手を加えなければ維持されないことを皆に気づかせられるような記載にできれば。

⇒素案での検討事項とする。

- ・KAGOSHIMAグリーン・ツーリズムというアルファベット表記にした理由は。

⇒インバウンド対応をやっていくこと、また、県外・国外客を見据えつつ、特別感を出しているところである。

- ・グリーン・ツーリズムではあるが事業の中に錦江湾を生かした漁業体験の取り組みがあり、錦江湾は鹿児島の大きな魅力のひとつだと思うので、錦江湾についても計画に出てくるようにしてはどうか。

⇒錦江湾については、谷山漁協と協力して漁業体験を行っており、今年度は別な団体とも協力して、錦江湾のクルーズを取り入れた漁業体験を開催する予定である。錦江湾の文言については素案での検討事項とする。

- ・稼ぐという言葉の使用について、単にお金だけでなく、知恵だとか体験を、という広い意味での稼ぐになればよいと思う。

⇒素案での検討事項とする。